

自由と民主主義 読み学ぶ



「希望の国のエクソダス」「君たちはどう生きるか」「それでも、日本人は『戦争』を選んだ」…。シールズが選んだ十五冊には、さまざまな分野の書名が並ぶ。

メンバーで、日本女子大で宗教史を学ぶ大学院生是恒香琳さん(四)は「自由や

考えるDさ
を考えるDさ
を考えるDさ
を考えるDさ

シールズが「選書プロジェクト」

国会前で安全保障関連法案への抗議行動をしてきた学生グループ「SEALDs(自由と民主主義のための学生緊急行動、シールズ)」が、日本の政治や歴史を学ぶための書籍十五冊を発表し、協力書店を呼びかけている。名付けて「選書プロジェクト」。メンバーは「デモの出発点は学ぶこと。先人の知の蓄積があつて、私たちはデモで思いを発信してきた」と本への思いを語る。

(安藤恭子、望月衣瑠子)

民主主義を議論する時、土台として知識を共有できる本をみんなで選んだ」と説明する。

選書プロジェクトは七月下旬に準備がスタート。本好きのメンバーが一人三冊程度、影響を受けた本の推薦をし、その中から集団的自衛権や特定秘密保護法に関連する本など、基本図書十五冊を決めた。

「違憲の法案を強行して通す政治が、いかにおかしいか。私たちの自由と権利を守るため、本で学び、話し合うことはますます大切になる」と是恒さん。

来夏には参院選も控える。メンバーの大学四年生藤大さん(四)は「政治を国会議員任せにしてはダメだ、とあらためて知った。本を通じ、政治を考える人

「SEALDs選書プロジェクト」基本図書15冊

書名	著者
ぼくらの民主主義なんだぜ	高橋源一郎
夜の鼓動にふれる 戦争論講義	西谷修
安倍流改憲にNOを!	樋口陽一・山口二郎(編)
切りとれ、あの祈る手を (本)と(革命)をめぐる五つの夜話	佐々木中
社会を変えるには	小熊英二
それでも、日本人は「戦争」を選んだ	加藤陽子
君たちはどう生きるか	吉野源三郎
丸山真男セレクション	丸山真男、杉田敦(編)
憲法 第六版	芦部信言、高橋和之(補訂)
集団的自衛権と安全保障	豊下梢彦 古関彰一
秘密保護法 何が問題か―検証と批判	海渡雄一 清水勉 田島泰彦(編)
右傾化する日本政治	中野野一
政治学をつかむ	刈部直 宇野重規 中本義彦(編)
「存在の現れ」の政治 水俣病という思想	栗原彬
希望の国のエクソダス	村上龍

を増やしていきたい。特に同世代が本を手にとり取って読めばうれしい」と願っている。

この選書プロジェクトを、既に取り入れている書店も出始めた。大学生協東京事業連合(東京都杉並区)が、全国の大学生協に呼びかけたところ、今月十四日時点で全国二十九の大学生協が、プロジェクト参加を表明した。

また農業の専門書を中心に扱う農文協・農業書センター(千代田区)は、シールズのツイッターでプロジェクトを知り、すぐに本を

並べ始めた。店員の谷藤律子さん(四)も、自身も国会前デモに足を運んできた。「シールズの運動を支援しつつ、自分の立場でも何かできないかと思い、コーナーを作ることを決めた。安保関連法が成立したこれからは、闘いの始まりだと思ふ」と話す。

シールズは今後、選書を五十冊ほどに増やす予定で、図書館やカフェなどの協力も募る。問い合わせはメールで、タイトルに「選書プロジェクト」と付けて、シールズ(sealds.jp_n@gmail.com)へ。